

主催 (財)日本規格協会 情報技術標準化研究センター(INSTAC)

「情報技術分野の標準化動向と INSTAC の取組み」説明会のご案内

(開催主旨) 情報技術(IT)分野の標準化は、標準化戦略の策定、情報機器に対する市場からの要請への対応、ソフトウェア、データ等の相互運用性やインタフェースの確保などを通じて、健全な情報化社会の実現、情報技術の発展、情報産業界の競争促進等を図ることなどを目的とするものです。INSTAC では、INSTAC 会員企業各位から頂く資金及び経済産業省、日本自転車振興会等からの受託・補助金等によって、IT 分野で標準化を必要とするテーマについての調査研究を実施しております。説明会では、平成 18 年度に INSTAC が実施している標準化事業について、次のテーマに焦点を当て、その取組みの現状と今後の対応等について説明いたします。

- 1) IT 分野における標準化戦略
- 2) IT 分野における情報アクセシビリティの標準化
 - ・アクセシビリティに関する海外の動向
米国リハビリテーション法 508 条の改正、欧州での規格整備及び第 3 者認証制度策定の動向等
 - ・アクセシビリティに関する国際規格化の現状
JIS X 8341-3(高齢者・障害者等配慮設計指針 ウェブコンテンツ)の国際規格化
- 3) 暗号モジュールのセキュリティ規格と認証制度
 - ・JIS X 19790(セキュリティ技術 暗号モジュールの要求事項)規格の説明(制定)
 - ・JIS X 5091 (セキュリティ技術 暗号モジュールの試験要件)規格の説明(制定)
 - ・認証制度への取組み

と き ・ と こ ろ

日 時	2007年3月8日(木) 13:30~16:50
場 所	(財)日本規格協会 大講堂(6階) 東京都港区赤坂4-1-24 (http://www.jsa.or.jp/)
参加料	無 料 テキスト 当日配布予定
申込及び 問合せ先	(財)日本規格協会 INSTAC(担当:村石・宮古) 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-5 赤坂エイトワンビル8階 TEL(03)3592-1408, FAX(03)3592-1412, E-mail: instac_seminar@jsa.or.jp
申込方法	・申込書に必要事項をご記入のうえ、上記宛に FAX, 郵送, 電子メールでお申込みください。なお、電子メールの場合は、申込書の事項を明記し、お申し込みください。 ・参加者は、先着順に受け付け、定員になり次第締め切りますのでご了承ください。 ・参加券の発送をもって受付完了といたします。

F A X (0 3) 3 5 9 2 - 1 4 1 2 (I N S T A C 行 き) 平成 1 9 年 月 日

「情報技術分野の標準化動向と INSTAC の取組み」参加申込書

会社名・団体名: _____

所在地: 〒 _____

T E L : _____ F A X : _____

参加者名: _____ 所属部課名: _____

参加者名: _____ 所属部課名: _____

「情報技術分野の標準化動向と INSTAC の取組み」 < プ ロ グ ラ ム >

日 時： 2007 年 3 月 8 日 (木) 13 : 30 ~ 16 : 50

場 所： (財) 日本規格協会 大講堂 (6 階)

東京都港区赤坂 4-1-24 (<http://www.jsa.or.jp/>)

(敬称略)

13:30 ~ 13:35 「主催者あいさつ」

(財) 日本規格協会 INSTAC

「来賓あいさつ」

経済産業省 情報電子標準化推進室

13 : 35 ~ 14 : 20 「 I T 分野における標準化戦略」

浅野正一郎 IT 標準化戦略委員会委員長 (国立情報学研究所)

IT 標準化戦略委員会は、IT 分野の新規標準化テーマの発掘を行い、その中から、INSTAC が取組む標準化テーマを検討し、調査研究活動につなげている。平成 18 年度の活動概要と今後、IT 分野の標準化として取組む方向性等についての話題 (情報) を提供いたします。

14 : 20 ~ 14 : 50 「 I T 分野における情報アクセシビリティの標準化」

森井 秀司 情報アクセシビリティ委員会事務局 (INSTAC)

米国では、政府調達にアクセシビリティを義務付けるリハビリテーション法 508 条及びテレコム法 255 条の改正が、諮問委員会 (TEITAC) において 2007 年月中旬を目標に進められております。また、欧州においても公共調達要件にアクセシビリティを入れるための規格の整備と第 3 者認証制度等の検討がすすめられています。一方、国際規格化の動向として、JIS X 8341-3 を基にした国際規格化のための活動を行っております。これらの現状と今後の対応等について説明いたします。

15 : 00 ~ 16 : 30 「 暗号モジュールのセキュリティ規格と認証制度」

a) 「暗号モジュールに関する JIS の制定」

吉田健一郎 情報セキュリティマネジメント及び評価技術
標準化調査研究委員会 WG1 委員 [(財) 日本品質保証機構]

暗号アルゴリズムについては、電子政府推奨暗号など安全性についての整備が進んでいる。しかし、安全な暗号アルゴリズムでもその実装が不適切で、アルゴリズムの改ざんや秘密鍵の漏洩に対する耐タンパー性対策がなされていなければ、システムや製品の保証はできない。このための国際規格が、ISO/IEC19790 として制定された。これを JIS X 19790 として、また、これを検証する試験規格が JIS X 5091 として、2007 年 3 月 20 日付けで官報公示・発行される予定である。規格の発行に際し、これら 2 規格の規定内容等について説明いたします。

耐タンパー性：暗号モジュールに対する攻撃 (tamper) から、暗号モジュール内の秘密情報を守秘したり、機能の改変が困難としたりする性質。

b) 「暗号モジュール試験と認証制度」

近藤 潤一 情報セキュリティマネジメント及び評価技術
標準化調査研究委員会 WG1 委員 [(独) 情報処理推進機構]

(独) 情報処理推進機構では、暗号モジュールにおいて電子政府推奨暗号リスト等に示された暗号アルゴリズムが適切に実装されているか否かの試験などを行う暗号モジュール試験及び認証制度 (JCMMP) の試行を 2006 年 6 月から行っています。この度、上記 2 規格が発行されるに当たり、JIS X 5091 に規定されている具体的な規定項目をサンプルにとり、暗号モジュールの試験要件及び認証制度の取組みについて説明いたします。

16 : 30 ~ 16 : 50 「 質疑・閉会の挨拶」

(財) 日本規格協会 INSTAC

備考 1 . 14 : 50 ~ 15 : 00 「 休憩」

2 . 都合により、プログラム、講師等の変更をする場合がありますので、ご了承ください。